intra-mart WebPlatform / AppFramework Ver.7.0

移行ガイド

2012/03/26 第 5 版

<< 変更履歴 >>

変更年月日	変更内容
2008/07/07	初版
2009/02/27	第 2 版 「1.11.2 アプリケーション共通マスタ関連のStorageServiceコンテンツの移行」を追記しました。
2009/06/30	第 3 版 「1.1IMv7.0 のライセンス登録」に説明を追記しました。
2009/10/30	第 4 版 「1.7.3 データ移行用ライブラリのコピー」のファイルのコピー先を修正しました。
2012/03/26	第 5 版 ・ドキュメントのタイトルの誤字を修正

<< 目次 >>

1 Ver6.1 からVer7.0 へのデータ移行 1
1.1 データ移行における注意事項 1
1.2 移行手順の概要 3
1.3 DBデータのバックアップ 3
1.4 IMv6.1 からのアカウントデータのエクスポート 4
1.5 IMv7.0 のインストール 4
1.6 IMv7.0 のライセンス登録 4
1.7 設定ファイルの移行（その1） 5
1.7.1 データ移行モジュールのコピー 5
1.7.2 データ移行用ファイルのコピー 5
1.7.3 データ移行用ライブラリのコピー 5
1.8 データベース接続の設定 5
1.9 IMv7.0 の起動 5
1.10 ログイングループの作成 5
1.11 設定ファイルの移行（その2） 6
1.11.1 ワークフロー関連のStorageServiceコンテンツの移行 6
1.11.2 アプリケーション共通マスタ関連のStorageServiceコンテンツの移行 6
1.12 データ移行モジュールによる初期データインポート 6
1.13 アカウントデータのインポート 8

1 Ver6.1 から Ver7.0 へのデータ移行

intra-mart ver7.0（以下 IMv7.0）は、他の intra-mart プロダクト（ver1.x、ver2.x、ver3.x、ver4.x、ver5.x、ver6.x 及び該当の上で動作する intra-mart アプリケーション） とは基本構成が異なる理由のため、同一環境での共存が不可能となります。

intra-mart ver6.1 （以下 IMv6.1） をご使用のお客様は、この章で説明するデータ移行の手順により、システム関連情報を IMv7.0 に移行する事が可能となります。

（重要） データ移行作業を行う前に、IMv6.1 の最新パッチがインストールされていることをご確認ください。
最新パッチが当てられていないと、正常にデータ移行を行うことができません。

本章では、IMv6.1 から IMv7.0 へのシステムデータ、ポータルデータ、ワークフローデータ、FormatCreator の移行に関して説明します。
（お客様が独自に作成されたプログラムやデータ等は、別途、移行作業が必要です）

1.1 データ移行における注意事項

下記の条件を必ず守って、IMv7.0 のインストールを行ってください。
全ての条件を満たしていない場合は、動作に不具合が生じ、再インストールを施さなければなりません。
また、データベース上のデータについても矛盾やロストといった不整合が発生する可能性があります。
十分にご注意ください。

(1) 移行作業を行う前に、DB データのバックアップを行い、移行時における障害発生時に復元可能な状態であることを確認してください。
(2) 他の intra-mart プロダクトが使用しているディレクトリに、移行先である IMv7.0 のインストールを行わないでください。→ 新規ディレクトリにインストールを行ってください。
(3) 移行先の IMv7.0 は、インストール直後にライセンスが登録されただけの状態でなければなりません。
(4) 必ず移行手順にしたがって初期起動を行ってください。インストール後にサーバを起動してしまった場合、正常にデータ移行が行えません。→ この場合、再インストールを行ってください。
(5) 移行先である IMv7.0 は、予めライセンス登録状態を IMv6.1 と同じ、もしくは、それより制限が緩いライセンスを登録しておく必要があります。
(6) ワークフローデータの移行を行う場合は、全ての案件が終了している状態でデータ移行を行ってください。（申請中のデータを移行すると、データ不整合が発生する場合があります）
(7) 「IMv6.1 ＋ FormatCreator Ver6.0」を環境からの移行は行えません。移行を行う前に、「FormatCreator Ver6.1」への移行を行ってください。
(8) Microsoft SQL Server を文字コード「UNICODE」 で運用している場合、以下の SQL ファイル内のカラム型「VARCHAR」を「NVARCHAR」に変更してください。
<% Storage Service の root %>/migration /v61_to_v70_migration_admin-user.sql
<% Storage Service の root %>/migration /v61_to_v70_migration_shortcut.sql
<% Storage Service の root %>/migration /v61_to_v70_migration_portal.sql
<% Storage Service の root %>/migration/v61_to_v70_migration_bpw.sql
<% Storage Service の root %>/migration/v61_to_v70_migration_ws.sql

※以下、「IMv6.1 ＋ FormatCreator Ver6.1」からの移行の場合
<% Storage Service の root %>/migration/v61_to_v70_migration_fc.sql

※以下、「FormatCreator Ver6.1 を使用していない」 環境から”アドバンスト”以上への移行の場合
<% Storage Service の root %>/system/basic/fcCreateTable.sql

※以下、”エンタープライズ for BPM”の場合
<% Storage Service の root %>system/basic/noticeProgressCreateTable.sql

IMv7.0 では、ポータル画面データの構造が変更されているため、ポータル画面の情報は移行できません。
登録されたポートレットの情報のみ移行されますので、移行処理実行後、別途グループポータル、ユーザポータルを作成してください。

Copyright 2000-2012 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

1.2 移行手順の概要

以下に、データ移行手順の概要を示します。

(1) DB データのバックアップ
(2) IMv6.1 からのアカウントデータのエクスポート
(3) IMv7.0 のインストール
(4) IMv7.0 のライセンス登録
(5) 設定ファイルの移行（その1）
- ◆ データ移行モジュールのコピー
- ◆ データ移行用ファイルのコピー
- ◆ データ移行用ライブラリのコピー

(6) データベース接続の設定
(7) IMv7.0 の起動
(8) ログイングループの作成
(9) 設定ファイルの移行（その2）
- ◆ ワークフロー関連の StorageService コンテンツの移行

(10) データ移行モジュールによる初期データインポート
(11) アカウントデータのインポート

1.3 DBデータのバックアップ

移行作業を行う前に、DB データのバックアップを行い、移行時における障害発生時に復元可能な状態であることを確認してください。DB データのバックアップについては、各データベース製品のデータバックアップ手順（ご利用のデータベース製品に付属のマニュアルを参照）に従ってください。

1.4 IMv6.1 からのアカウントデータのエクスポート

（注意） この操作は登録されているログイングループごとに行ってください。

(1) IMv6.1 にログイングループ管理者でログインしてください。
(2) メニューから[ログイングループ管理]-[アクセスセキュリティ情報入出力]-[エクスポート]を選択します。
(3) 右フレームの「アカウント」をチェックし、[ファイル]に出力するファイル名を指定し、[エクスポート]ボタンを押下します。
(4) 指定したファイルにデータが出力されていることを確認します。
(5) 複数のログイングループが存在する場合、出力ファイル名が重複しないように注意してください。
(6) ロール、メニュー、カレンダー、バッチ情報はエクスポートする必要はありません。
(7) データの形式については、以下のファイルを参照してください。
<% IMv6.1 ServerManager ルートディレクトリ %>/specification/dtd/account_6_1.dtd

1.5 IMv7.0 のインストール

インストールガイドにしたがって、IMv7.0 のインストールを行ってください。
intra-mart AppFrameworkをお使いの場合、ここではWARファイルの作成とApplicationServerへのデプロイを行わず、1.7.3章で行うようにしてください。
（この時点で、intra-mart の起動を行わないでください）

1.6 IMv7.0 のライセンス登録

IMv7.0 のライセンス登録を行ってください。
移行先である IMv7.0 には、予めライセンス登録しておく必要があります。
登録するライセンスは、IMv6.1 と同じエディション、または、それより上位のエディションのライセンスを登録する必要があります。

- IMv6.1 で「スタンダード」を利用していた場合
  ⇒ IMv7.0 「スタンダード」／「アドバンスト」／「エンタープライズ for BPM」
- IMv6.1 で「アドバンスト」を利用していた場合
  ⇒ IMv7.0 「アドバンスト」／「エンタープライズ for BPM」
- IMv6.1 で「エンタープライズ」を利用していた場合
  ⇒ IMv7.0 「エンタープライズ for BPM」

Copyright 2000-2012 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

1.7 設定ファイルの移行（その１）

1.7.1 データ移行モジュールのコピー

本製品 CD-ROM の「iwp_afw/migration/v61_to_v70/licenses/im_migration.iar」を、
<% IMv7.0 ServerManager ルートディレクトリ %>/licenses ディレクトリにコピーしてください。
エンタープライズ for BPM の場合は、「iwp_afw/migration/v61_to_v70/licenses_enterprise/im_migration.iar」を、
<% IMv7.0 ServerManager ルートディレクトリ %>/licenses ディレクトリにコピーしてください。

1.7.2 データ移行用ファイルのコピー

本製品 CD-ROM の「iwp_afw/migration/v61_to_v70/storage/migration/」ディレクトリにデータ移行用ファイル(.xml ファイル および .sql ファイル)が格納されています。
これらのファイルを、<% IMv7.0 StorageService ルートディレクトリ %>/storage/migration/ディレクトリにコピーしてください。
Microsoft SQL Server を文字コード「UNICODE」で運用している場合、コピーした SQL ファイル内のカラム型「VARCHAR」を「NVARCHAR」に変更してください。

1.7.3 データ移行用ライブラリのコピー

本製品 CD-ROM の「iwp_afw/migration/v61_to_v70/pages/src/migration/」ディレクトリにプログラムファイルが格納されています。
これらのファイルを、<% IMv7.0 ResourceService ルートディレクトリ %>/ pages/src/migration/ディレクトリにコピーしてください。
同様に、「iwp_afw/migration/v61_to_v70/doc/imart/WEB-INF/lib/」ディレクトリ内の JAR ファイルを、<% IMv7.0 ApplicationRuntime ルートディレクトリ %> /doc/imart/WEB-INF/lib/ディレクトリにコピーしてください。
intra-mart AppFramework をお使いの場合、ここで WAR ファイルを作成し、ApplicationServer にデプロイしてください。

1.8 データベース接続の設定

IMv7.0 のデータベース接続の設定を行ってください。（IMv6.1 運用時と同じ設定を行ってください）

1.9 IMv7.0 の起動

IMv7.0 を起動します。

1.10 ログイングループの作成

IMv7.0 に対して、ログイングループを作成します。IMv6.1 運用時と同じログイングループを作成してください。

1.11 設定ファイルの移行（その2）

1.11.1 ワークフロー関連のStorageServiceコンテンツの移行

以下のディレクトリを、ディレクトリ構造を保ったまま IMv7.0 にコピーしてください。

(1) 「<% IMv6.1 StorageService ルートディレクトリ %>/bpw/attach/」ディレクトリ

(2) 「<% IMv6.1 StorageService ルートディレクトリ %>/bpw/code_manager/」ディレクトリ

1.11.2 アプリケーション共通マスタ関連のStorageServiceコンテンツの移行

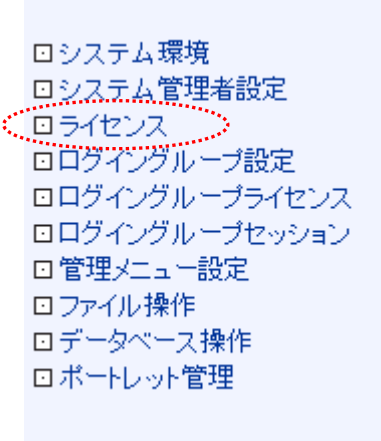
以下のディレクトリを、ディレクトリ構造を保ったまま IMv7.0 にコピーしてください。

(1) 「<% IMv6.1 StorageService ルートディレクトリ %>/master/」ディレクトリ

1.12 データ移行モジュールによる初期データインポート

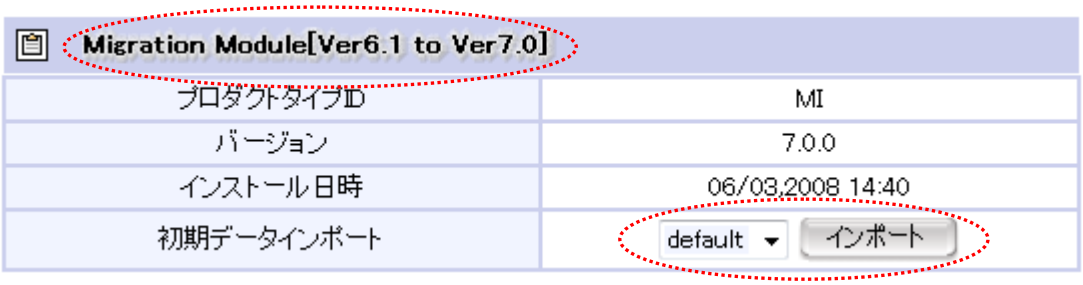
1. システム管理者にてログインします。

2. [ライセンス]メニューを選択します。



3. 「Migration Module[Ver6.1 to Ver7.0]」の[初期データインポート]欄のコンボボックスで、インポート対象のログイングループを選択し、[インポート]ボタンをクリックします。（ここでは、「default」を選択します。）

（注意） この操作は登録されているログイングループごとに行ってください。



Copyright 2000-2012 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

4. 以下の画面が表示されたら、データ移行モジュールによる初期データインポートは完了です。

Migration Module[Ver6.1 to Ver7.0]/初期データインポート結果

ライセンス画面へ戻る

項目	結果
テーブル作成(データベース)	テーブル作成に成功しました。 migration/v61_to_v70_migration_admin-user.sql migration/v61_to_v70_migration_shortcut.sql migration/v61_to_v70_migration_bpw.sql migration/v61_to_v70_migration_ws.sql
ロール	インポートしませんでした。
アカウント	インポートしませんでした。
メニュー	インポートが成功しました。 migration/v61_to_v70_menu-bpw.xml
カレンダー	インポートしませんでした。
バッチ	インポートしませんでした。
アクセスコントローラ	インポートしませんでした。
Webサービスアクセス	インポートしませんでした。
レコード作成(データベース)	インポートしませんでした。
拡張インポート(プログラム)	インポートが成功しました。 jp.co.intra_mart.data_migration.portal.extend.PortalExtendsImport jp.co.intra_mart.foundation.portal.common.portletadmin.mbeans.PortletImport migration/v61_to_v70_migration_fc.js

1.13 アカウントデータのインポート

（注意） この操作は登録されているログイングループごとに行ってください。

(1) IMv7.0 にログイングループ管理者でログインしてください。
(2) メニューから[ログイングループ管理]-[アクセスセキュリティ情報入出力]-[インポート]を選択します。
(3) 右フレームの「アカウント」をチェックし、[ファイル]に「1.4 IMv6.1 からのアカウントデータのエクスポート」にて作成したファイル名を指定し、[インポート]ボタンを押下します。
(4) （「カテゴリ」 コンボボックスは、「standard」を選択してください）
(5) アカウントデータが反映されていることを確認します。

（注 1）アカウント情報等の大量データをインポートするためには多くのシステムリソースを消費します。
一回のインポートは約 5000 件程度に分割してインポートすることをお勧めします。 (インポート処理には数分～数十分かかる場合があります。)
ユーザ 5000 人につき、Application Runtime と Permanent Data Service のそれぞれに、JAVAの起動メモリ -Xms に約 64 MB、-Xmx に約 128 MBが必要です。

※各サービス（Java プロセス）の起動メモリに関しては、管理ツール（intra-martAdministrator）を利用して設定をすることができます。なお、起動メモリ設定を変更した場合は、各サービスを再起動してください。

Copyright 2000-2012 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

intra-mart WebPlatform / AppFramework Ver.7.0
移行ガイド

2012/03/26 第5版

Copyright 2000-2012 株式会社NTTデータ イントラマート
All rights Reserved.
TEL: 03-5549-2821
FAX: 03-5549-2816
E-MAIL: info@intra-mart.jp
URL: http://www.intra-mart.jp/